屋台の作り方

◆用意するもの

・ベニヤ板2枚＋角材5本

※ベニヤ板と角材の寸法は木材基本セットと同じものになっています。

・釘適量(2.5cmのものと6.5cmのもの)、かなづち、ノコギリ、メジャー

・屋台の看板を装飾するための色紙、ペンキ、スプレーなど

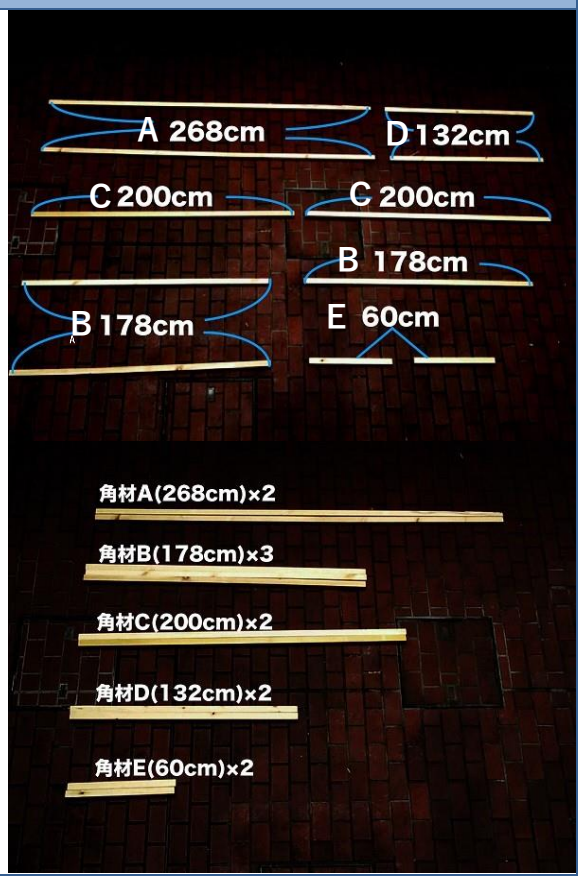
◆作り方

STEP1.角材を切り分ける

角材を以下の写真のように切り分け、角材A～Eのパーツを作ります。

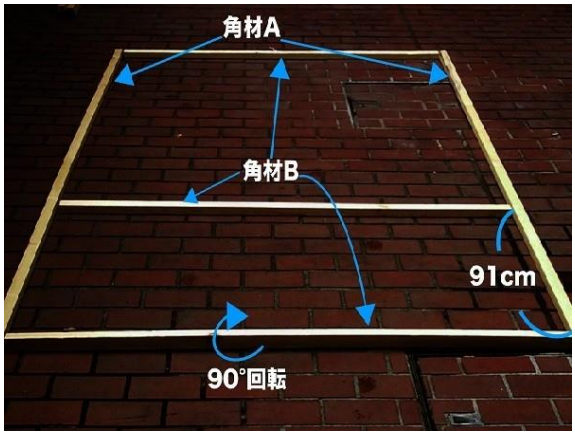
角材を切っている間に、屋台の看板となるベニヤ板を装飾して看板にしておきます。

以下はペンキを用いた装飾の一例ですが、色紙やスプレーなどを用いて装飾することもできます。



STEP2.枠組を組み立てる

角材の幅の広い面を地面につけて、以下の写真のとおりに角材Aと角材Bを配置します。
ただし、一番下の角材Bだけは狭い面を地面につけます。配置したら6.5cmの釘を打って枠組を固定します。



STEP3.枠組にベニヤ板を打ち付ける

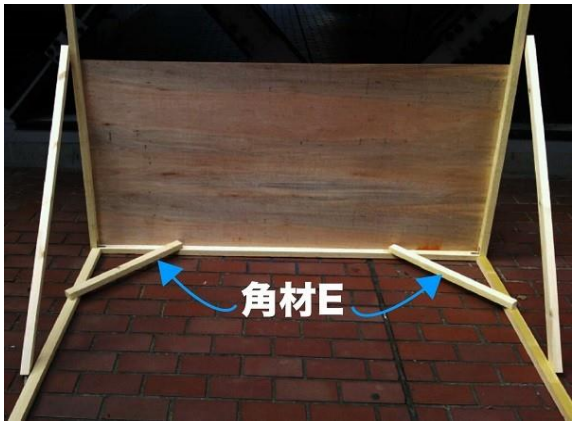
STEP2のままだと枠組にベニヤ板を打ち付けることができないので、枠組を裏返し、一番下の角材Bが出っ張っていないほうの面に、装飾しておいたベニヤ板2枚を2.5cmの釘を打って固定します。釘を打つ際、釘が板からはみ出ないよう注意してください。
これが屋台の看板になります。

STEP4.枠組を立てる

枠組を地面から持ち上げ垂直に立て、左右からしっかり支えた状態で下の角に角材Cを6.5cmの釘を打って固定します。このとき、STEP2、3で打った釘とぶつからないように注意して釘を打ちます。

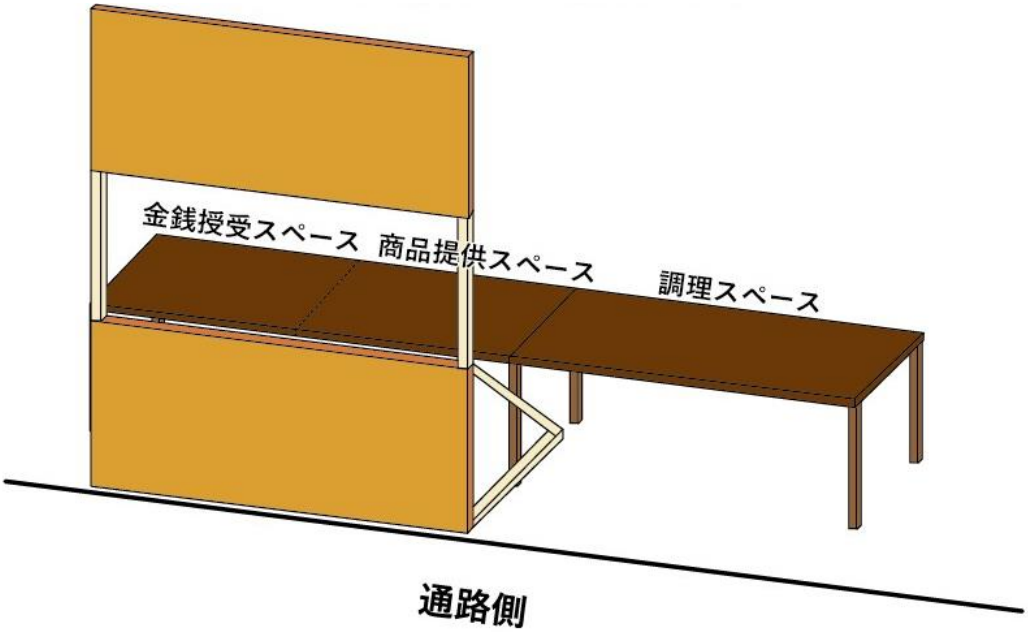
角材Cと角材Aの横から、以下の写真のように角材Dを6.5cmの釘を打って固定する。

一番下の角材Bと角材Cに、以下の写真のように角材Eを6.5cmの釘を打って固定する。
このとき、机の前足が必ず三角形内に入るように注意する（右図参照）。



完成

余った角材で連結部分を補強したら完成！
この作り方通りに作った場合、約100cmと約40cmの
角材が一本ずつ余ります。

◆立て方

・机1つにつき、屋台を1つ設置することができます。
・机と机の間に屋台を設置することはできません。
・調理品企画は、屋台を金銭授受スペースと商品提供スペースに使用する長机にのみ立てることができます。その場合、屋台と調理スペースとの間をなるべく離してください。
・**今年度より室外で飲食物を提供する場合は、テントおよびウエイトを有料レンタルする必要があります**。
・**テントおよびウエイトは調理スペースを囲むために利用してください**。
（『室外必携本』）p.14「企画書」参照）